

# 益新事業

グループの総合力を活かし、  
日本と中国をつなぐヘルスケア専門商社を目指します。

## 日本企業と中国市場の最適な関係づくりをサポート

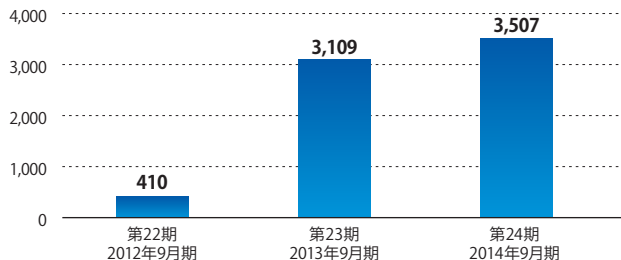
中国では、経済発展に伴う健康意識の高まりや少子高齢化を背景に、医療・ヘルスケア関連のニーズが急速に拡大しています。例えば、医薬品市場は年率20%のペースで急成長しており、2016年には米国に次ぐ世界第2位の医薬品消費国になるとの予測もあります。

当社グループは2001年から中国に拠点を置き、10年以上をかけて現地でのネットワークを築いてきました。これを活かし、協業や出資など商社の手法を使って、日本と中国とをつなぐ事業に力を注いでいます。医療に関する優れた技術やノウハウを中国市場へ展開することで、ビジネスチャンスの創出はもとより、医療機関・患者さんへの貢献、経済成長など、日本と中国の双方にメリットをもたらしています。

こうした中国でのビジネスを、当社グループは「益新事業」として推進しています。統括会社であるEPS益新株式会社のもと、今後さらに事業を拡大する方針です。

## 益新事業売上高推移

(単位:百万円)



## 日本の優れた医療機器を独自ルートで中国市場に展開

益新事業では現在、医療機器や研究用資材の販売、医薬品の開発権の売却などを行っており、売上高は35億円規模に達しています。そのなかで約30億円を占める収益の柱が医療機器の販売です。デジタルレントゲン検査機、医療フィルムなど画像診断関連の日本製品を、独自の流通ルートで販売しています。

また、現地ニーズに応える製品の生産工場を江蘇省南通市に建設中で、今期中にテスト販売を開始する予定です。



X線装置



画像診断用イメージャー



益通(南通)のオフィス兼工場完成予定図